

# 株主通信

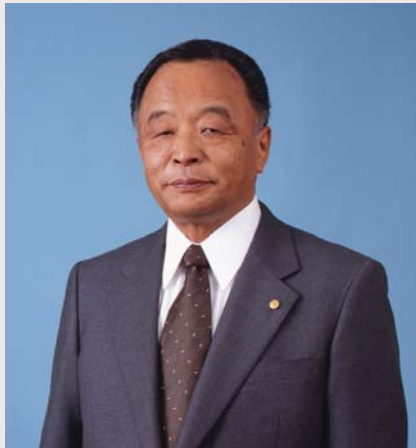
Reliability No.1 収益成長型企業を目指して



第80期 中間報告書  
2007年4月1日～2007年9月30日



# Reliability(信頼性)No.1 Your Partner for Success



久保田 隆(くぼた たかし)

略歴

- 1969年4月 当社入社
- 1995年4月 海外第2プロジェクト本部プロジェクト部長
- 1998年6月 取締役、豪亜プロジェクト総室長
- 2001年6月 常務取締役、海外プロジェクト統括
- 2004年6月 取締役、国内プロジェクト副統括
- 2005年6月 常務取締役、技術統括
- 2007年4月 取締役社長

株主の皆様には、ますますのご清栄のことお慶び申し上げます。  
また、平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、千代田グループ第80期中間期「2007年4月1日から2007年9月30日」までの会社概況についてご報告申し上げます。

2007年度上半期の実績について、完工高は期首に掲げましたとおり、カタール国での世界最大のLNGプラント6系列の建設、ロシア・サハリンのLNGプロジェクトが最終段階を迎えるなど各プロジェクトの遂行に注力した結果、前年度比増収を果たしました。しかしながら中東地区におけるプラント建設ラッシュのもと、当社は熟練工事従事者の逼迫やカタール国におけるインフレーションなどの厳しい工事遂行環境に直面し、現場工事の追加コストを余儀なくされた結果、前年度比減益となりました。一方、受注高は国内の石油・石油化学分野を中心に好調に推移したことにより、期首計画の年間目標の7割を上半期で獲得するに至りました。

今下半期においても、カタール国で引き続き厳しい工事遂行環境のもとにプロジェクトを進めていく結果、期首の事業計画に対して減益となりますが、コスト増加への対策をはじめリスク管理の一層の徹底を継続していくことで利益改善を目指します。なお配当につきましては、期首にて発表させて頂いたとおり、来年6月に一株当たり18円の配当を予定しております。

「継往開来」を経営方針として開始した2007年度は、引き続き1「現在建設中のカタールの世界最大のLNGプラント及び国内の大型石油プラント建設プロジェクトの「確実な遂行」、2「安全文化の確立・定着」、3「次なる戦略への播種」を重点施策として役職員一同邁進して参ります。株主の皆様におかれましては、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 営業の概況

当中間連結会計期間における当社グループを取り巻く市場環境は、海外プラント市場においては、引き続き、世界レベルでのエネルギー需要の増大に対応し、世界各地でプラント建設が計画されております。一方で、プラント建設ラッシュが続く中東地区においては、熟練工事従事者の逼迫に起因する生産性の低下が避けられない状況が続き、工事遂行環境は依然として厳しいものとなっております。

このような環境のもと、当社グループはカタールを中心とした既受注案件の確実な工事遂行に向け、引き続き、全力を挙げて取り組んでおります。

国内では、大型LNG受入基地の新增設案件への投資意欲や石油・石油化学分野を中心とした新規設備、既設設備改造への投資は引き続き堅調に推移しております。当社グループにおいては、石油分野を中心として、手持工事の遂行が順調にすすみ、受注面でも重質油処理案件を中心に堅調な受注を達成しております。

当中間連結会計期間は、シンガポール向け製油所残油接触分解装置の改造工事などを受注し、連結受注工事高が、1,803億13百万円(前中間連結会計期間比 51.5%減)となりました。その内訳は、海外 751億49百万円(同 75.0%減)、国内 1,051億63百万円(同 48.4%増)となりました。なお、当中間連結会計期間未受注残高は、9,188億61百万円となりました。

連結完成工事高については、主要な手持工事の進捗により、3,125億47百万円(前中間連結会計期間比 48.1%増)となりました。その内訳は、海外 2,465億41百万円(同 48.2%増)、国内については 660億5百万円(同 47.8%増)となりました。

## 当中間期の主な完成案件(\*)は出来高部分

国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿島アロマティックス(株)アロマコンプレックス新設工事</li> <li>・三菱瓦斯化学(株)MXDA設備建設工事</li> <li>・久光製薬(株)宇都宮第2工場建設工事</li> <li>・出光興産(株)北海道製油所2007年SDM工事(千代田工商(株))</li> </ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カタール向けラスガス3社LNGプラント第6及び第7系列増設工事(*)</li> <li>・カタール向けカタールガス3社及びカタールガス4社LNGプラント第6及び第7系列増設工事(*)</li> <li>・カタール向けカタールガス2社LNGプラント第4及び第5系列増設工事(*)</li> <li>・ロシア向けサハリン2プロジェクト(*)</li> </ul>

利益面では、完成工事高が増加したものの、熟練工事従事者の逼迫に起因する生産性の低下により完成工事総利益率が悪化し、完成工事総利益は172億39百万円(同 8.9%減)、営業利益は114億20百万円(同 15.4%減)となりました。経常利益は173億3百万円(同 3.6%増)、中間純利益は106億41百万円(同 4.8%減)となりました。

## 受注・完工の状況

### 天然ガス・電力分野

海外においては、世界的な天然ガス需要の伸びを背景に、産ガス国やエネルギー・メジャー各社による井戸元開発・LNGプラント建設・LNG輸送船手配・LNG受入れターミナル建設というガスヴァリューチェーンへの投資は各地で計画されております。このような状況の下、当社グループは調査業務及び基本設計業務の受注に注力するとともに、カタールを中心とした既受注案件の確実な工事遂行に向け、引き続き、全力を挙げて取り組んでおります。

国内電力・ガス業界においては、原油価格の更なる高騰に伴い、原燃料のLNGへのシフトに対応するため、大型LNG受入基地の新增設案件への投資意欲が引き続き旺盛であります。

当中間連結会計期間の受注工事高は 633億95百万円( 前中間連結会計期間比 78.5%減 )となり、完成工事高は 2,447億99百万円( 同 52.4%増 )となりました。

**石油・石油化学・ガス化学分野**

石油分野においては、手持工事の遂行及び工事完工とも順調に推移し、引き続き旺盛な設備投資意欲のもと、受注面も、重質油処理対応案件や既設設備の保守案件は堅調に推移しております。また、石油化学分野においては、原油高を背景にした石化製品への価格転嫁により、各社の投資意欲は高まりを見せています。アジア市場への展開に加え、CR(石油精製と石油化学の一体化)事業に対して投資する動きが見られています。

当中間連結会計期間の受注工事高は 859億67百万円( 同 121.4%増 )となり、完成工事高は 441億68百万円( 同 26.0%増 )となりました。

**一般化学・産業機械分野**

一般化学・産業機械分野においては、電子材料や医薬品関連の堅調な設備投資が続いております。

当中間連結会計期間の受注工事高は152億42百万円( 同 45.1%減 )となり、完成工事高は 185億7百万円( 同 90.6%増 )となりました。

**環境・その他分野**

環境分野においては、環境規制強化の流れに伴って自社開発技術である排煙脱硫プロセス(CT-121)の営業活動を国内外で継続し、その他分野においても営業活動を展開し、新規案件を獲得することができました。

当中間連結会計期間の受注工事高は 157億8百万円( 同 50.4%増 )となり、完成工事高は 50億72百万円( 同 9.2%減 )となりました。



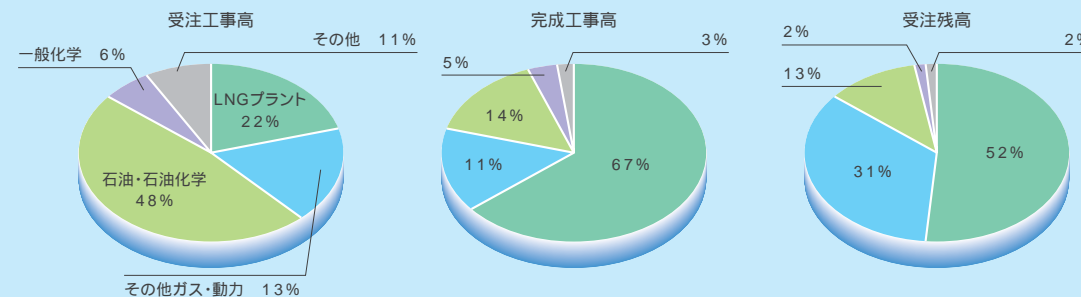
カタールで建設中のLNGプラント



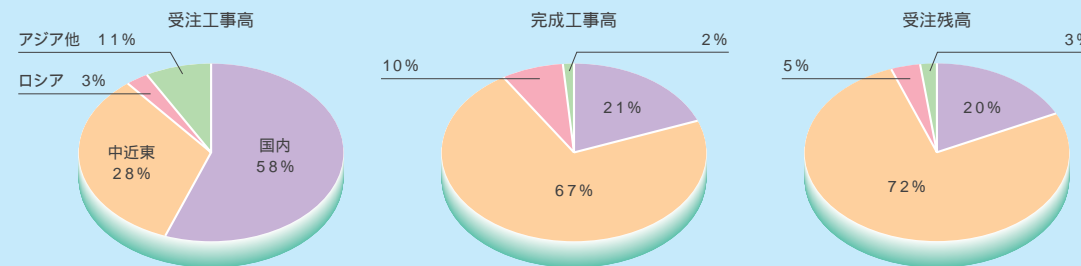
鹿島アロマティックス(株)アロマコンプレックス

**【連結セグメント情報】**

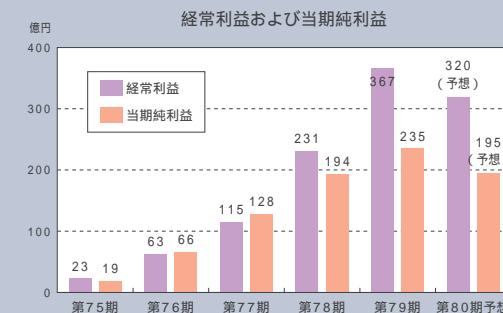
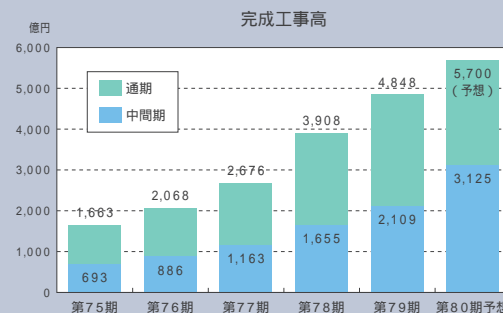
**当中間期の分野別割合**



**当中間期の地域別割合**



**【業績の推移】**



連結決算レポート

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第79期 (2007年3月31日現在)	第80期中間 (2007年9月30日現在)
<b>&lt; 資産の部 &gt;</b>		
流動資産	418,037	424,786
現金及び預金等*	77,177	72,459
受取手形及び完成工事未収入金	38,659	57,627
未成工事支出金	27,656	25,391
JV持分資産	256,060	252,494
その他流動資産	18,524	16,923
貸倒引当金	40	109
固定資産	24,915	24,601
有形固定資産	7,464	7,684
無形固定資産	3,352	3,390
投資その他の資産	14,097	13,526
資産合計	442,952	449,387
<b>&lt; 負債の部 &gt;</b>		
流動負債	351,444	351,582
支払手形及び工事未払金	86,813	93,667
未成工事受入金	231,818	234,915
短期借入金	96	92
その他流動負債	32,716	22,907
固定負債	14,093	12,648
長期借入金	10,067	10,036
その他固定負債	4,025	2,612
負債合計	365,537	364,230
<b>&lt; 純資産の部 &gt;</b>		
株主資本	77,133	84,765
資本金	12,928	12,929
資本剰余金	6,711	6,712
利益剰余金	58,398	66,155
自己株式	905	1,033
評価・換算差額等	110	4
少数株主持分	392	396
純資産合計	77,414	85,157
負債純資産合計	442,952	449,387

流動資産

受取手形及び完成工事未収入金が増加したことなどにより流動資産は67億円増加しました。

純資産の部

利益剰余金の増加に伴い、自己資本は847億円となり、自己資本比率は18.9%と1.5ポイント改善しました。

\*現金及び預金等には「譲渡性預金」を含めて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第79期中間 自 2006年4月 1日 至 2006年9月30日	第80期中間 自 2007年4月 1日 至 2007年9月30日
完成工事高	210,981	312,547
完成工事原価	192,047	295,307
完成工事総利益	18,934	17,239
販売費及び一般管理費	5,443	5,819
営業利益	13,490	11,420
営業外収益	3,836	6,332
営業外費用	629	449
経常利益	16,697	17,303
特別利益	1,076	726
特別損失	14	
税金等調整前中間純利益	17,758	18,029
法人税、住民税及び事業税	4,876	5,002
法人税等調整額	1,675	2,377
少数株主利益	33	7
中間純利益	11,173	10,641

完成工事高

豊富な手持工事の進捗に伴い、完成工事高は前年同期比48%増加しました。

営業利益

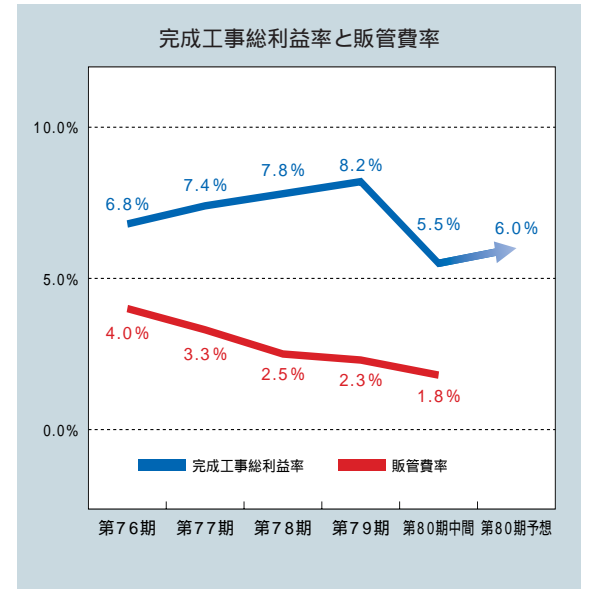
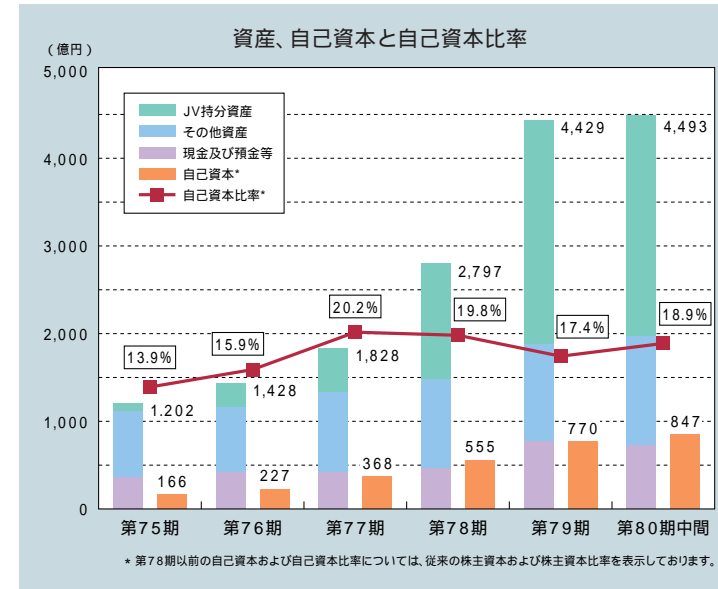
完成工事総利益率の低下や販売管理費の増加に伴い、前年同期比15%減少しました。

経常利益

JV持分資産の運用利息が増加し、前年同期比4%増加しました。

中間純利益

税金費用の増加により、前年同期比5%減少しました。



# トピックス

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第79期中間 自 2006年4月 1日 至 2006年9月30日	第80期中間 自 2007年4月 1日 至 2007年9月30日
< 営業活動によるキャッシュ・フロー >		
税金等調整前中間純利益	17,758	18,029
減価償却費	759	728
営業に関する資産の減少額( は増加額)	2,364	16,499
営業に関する負債の増加額	103,137	9,794
JV持分資産の減少額( は増加額)	108,794	3,566
その他	5,162	4,245
(小計)	10,063	11,374
利息及び配当金の受取額	146	375
利息の支払額	151	91
法人税等の支払額	3,647	13,541
その他	469	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,941	1,883
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,038	117
< 財務活動によるキャッシュ・フロー >		
配当金の支払額	1,913	2,877
その他	93	173
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,006	3,050
現金及び現金同等物の中間期末残高	48,721	72,329

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前中間純利益を180億円計上しましたが、営業に関する資産が増加したことなどにより、18億円のマイナスとなりました。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

IT関連のソフトウェア投資などを今期も引き続き実施する一方、投資有価証券の売却収入などにより1億円のプラスとなりました。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払いなどにより30億円のマイナスとなりました。

## 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	小計			
第79期末 (2007年3月31日現在)	12,928	6,711	58,398	905	77,133	110	392	77,414
中間純利益			10,641		10,641			10,641
剰余金の配当			2,884		2,884			2,884
自己株式の取得				127	127			127
その他	1	1			2	105	4	113
中間変動額合計	1	1	7,756	127	7,632	105	4	7,742
第80期中間期末 (2007年9月30日現在)	12,929	6,712	66,155	1,033	84,765	4	396	85,157

## 最終段階を迎えたサハリンLNGプロジェクト

ロシア・サハリンで遂行中の本プロジェクト(顧客：サハリンエナジー社)は、ロシアにおける初めてのLNGプラント建設であるとともに、当社にとっても初めてのロシアでのプラント建設であります。冬季の積雪とマイナス40にもなるという厳しい環境ばかりでなく、ロシア許認可取得の遵守や非常に高いレベルでの環境保全要求など、当社にとって非常にチャレンジングなプロジェクトではありますが、様々な取組み、工夫を行いながら遂行しております。

2007年は、ビルディングの引渡しやOET設備(オイルエクスポートターミナル)の引渡しなどの大きなマイルストーンを無事にクリアすることができ、2008年に計画しておりますプロセスライン-1、2の引渡しへ向けて、引き続き努力



中であります。

また、安全面に関しても、サイト内だけでなくキャンプ内や通勤時の事故も安全記録の対象となっており、交通事故率が日本の数十倍、ロシア特有のアルコール問題といった現地の状況の下、スーパーバイザーやワーカーに対する安全教育の徹底やキャンプ内でのサブコントラクターを交えた安全イベントの開催、現地交通警察退職者を採用して交通取締を実施する等あらゆる努力を行っており、結果として2,000万時間の無災害記録を達成しております。



OETタンク設備



LNGプラント中心部



テストのため入港したLNG船

## 会社の概況

### 会社概要 (平成19年9月30日現在)

設立	昭和23年1月20日	
資本金	12,929,629,450円	
主要な営業所及び事務所	本店	横浜市
	子安オフィス・リサーチパーク	横浜市
	国内営業拠点	大阪市
	海外営業・調達拠点	イタリア、韓国、オランダ、アラブ首長国連邦、カタール、インドネシア、中国、シンガポール
従業員(在籍数)	単体従業員数 1,335名、連結従業員数 3,143名	
当社及び主要なグループ企業の事業内容	ガス、電力、石油、石油化学、一般化学、医薬品等の産業用・民生用設備並びに公害防止・環境改善及び災害防止用設備等に関するコンサルティング、計画、設計、調達、施工、試運転及びメンテナンス等の総合エンジニアリング事業	

### 主要なグループ企業の事業内容 (平成19年9月30日現在)

エンジニアリング事業	
工事遂行	千代田工商株式会社(横浜市) 千代田計装株式会社(横浜市) 千代田テクノエース株式会社(横浜市)
コンサルティング・人材派遣業	千代田コーテック株式会社(横浜市)
先端エンジニアリング	千代田アドバンス・ソリューションズ株式会社(横浜市)
海外設計拠点(GES)	千代田フィリピン・コーポレーション(フィリピン) エル・アンド・ティール・千代田リミテッド(インド)
海外工事遂行拠点	千代田シンガポール・プライベート・リミテッド(シンガポール) ビー・ティー・千代田インターナショナル・インドネシア(インドネシア) 千代田マレーシア・センドリアン・ベルハッダ(マレーシア) 千代田&パブリック・ワークス・カンパニー・リミテッド(ミャンマー) 千代田ベトロスター・リミテッド(サウジアラビア)
海外営業拠点	千代田インターナショナル・コーポレーション(米国) 千代田ナイジェリア・リミテッド(ナイジェリア)
その他の事業	アロー・ビジネス・コンサルティング株式会社(横浜市) アローヘッド・インターナショナル株式会社(東京都港区) ITエンジニアリング株式会社(横浜市) 株式会社アローメイツ(横浜市)

連結子会社 関連会社で特法適用会社

### 役員 (平成19年9月30日現在)

取締役 会長	関 誠 夫
代表取締役 社長	久保田 隆
代表取締役 副社長	亀井 信 寧
代表取締役 副社長	柴田 博 至
代表取締役専務取締役	香田 圓
常務取締役	源 淳 郎
常務取締役	中島 純 夫
常務取締役	横井 悟
常務取締役	小川 博
常勤 監査役	門山 明
常勤監査役(社外監査役)	井田 浩 史
監査役(社外監査役)	藤岡 琇 晃
監査役(社外監査役)	今出川 幸 寛
常務執行役員	三枝 隆 治
常務執行役員	望月 正 彦
常務執行役員	小林 秀 夫
執行役員	長田 文 雄
執行役員	篠原 英 宏
執行役員	川瀬 健 雄
執行役員	柿崎 剛
執行役員	下野 涉
執行役員	今原 収
執行役員	島田 浩
執行役員	山下 栄 作
執行役員	大沼 敏 行
執行役員	白川 公 一
執行役員	上地 崇 夫
執行役員	木村 克 俊

### 有資格者数一覧 (平成19年9月30日現在)

資格名称	資格名称	資格名称	資格名称
公的資格	名	技術士 電気・電子部門	.....1
土木施工管理技士 1級	.....80	技術士 機械部門	.....12
土木施工管理技士 2級	.....2	技術士 衛生工学部門	.....6
建築施工管理技士 1級	.....24	電気工事士 第1種	.....67
建築施工管理技士 2級	.....1	電気工事士 第2種	.....21
電気工事施工管理技士 1級	.....88	電気工事士	.....3
電気工事施工管理技士 2級	.....13	電気主任技術者第3種	.....32
管工事施工管理技士 1級	.....124	鉄工1級・製罐1級	.....1
管工事施工管理技士 2級	.....16	鉄工2級・製罐2級	.....1
建築士 1級	.....53	建設設備士	.....8
建築士 2級	.....8	一級計装士	.....135
技術士 建設部門	.....3	監理技術者	.....309
国際資格(実質保有者を含む)	名		
Professional Engineer 機械工学	.....5	Professional Engineer 土木工学	.....3
Professional Engineer 化学工学	.....9		

合計 1,025名

### 株式の状況 (平成19年9月30日現在)

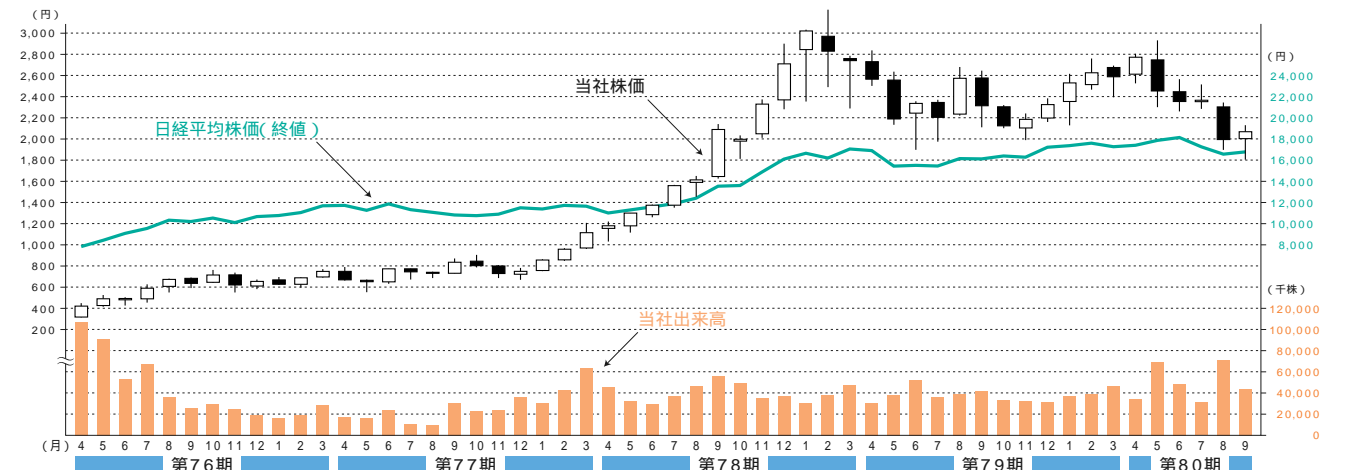
1 発行可能株式総数	650,000,000株
株式の種類	普通株式 570,000,000株
	優先株式 80,000,000株
2 発行済株式総数	普通株式 193,137,529株
3 株主数	13,189名
4 新株予約権の状況	

発行決議の日	行使開始日	目的となる株式の種類及び数
平成14年6月27日	平成16年7月1日	普通株式 111,000株

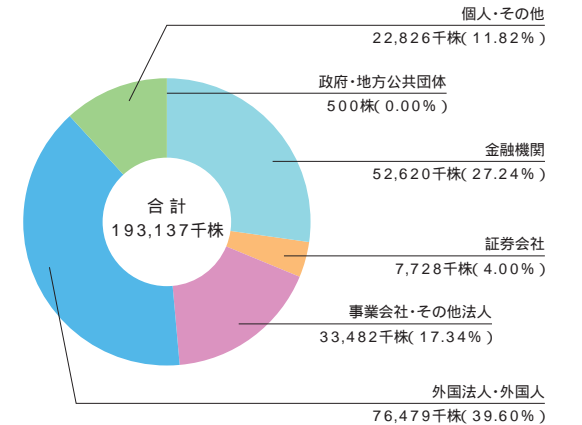
### 5 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	構成比
	千株	%
三菱商事株式会社	19,851	10.27
株式会社三菱東京UFJ銀行	9,033	4.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,765	4.53
三菱UFJ信託銀行株式会社	8,034	4.15
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	7,858	4.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,405	3.83
ザバンクオブニューヨーク トリーティージャスデックアカウント	3,510	1.81
オーエム04エスエスピークライアントオムニバス	3,366	1.74
ピーエスピー/リハセキュリティーズサービスクレジット/ガスデックセキュリティーズ	3,217	1.66
カリヨンディーエムエイオーティシー	3,141	1.62

### 株式データ



### 所有株数別分布状況 (平成19年9月30日現在)



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当の基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月開催
定時株主総会基準日	3月31日。そのほか必要がある場合には、取締役会の決議によりあらかじめ公告のうえ設定いたします。
公告掲載	当社ホームページ
一単元の株式の数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第一部
証券コード	6366
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取扱場所	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
同連絡先	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-232-711

住所変更、配当金振込指定・変更、  
単元未満株式買取に必要な各用紙のご請求は

株主名簿管理人の  
フリーダイヤル

0120-244-479

24時間承っております。



**CHIYODA CORPORATION**

千代田化工建設株式会社

本店 〒230-8601 神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央二丁目12番1号  
電話 045-506-7105 FAX 045-506-7109

<http://www.chiyoda-corp.com/>